

- 収量コンバインによる収穫作業から得られたデータを地域の生産者と共有・分析。
- 収量データを基に可変施肥を実施することで収益性が向上。

経営上の課題

- ・高齢化により労働力が減少し、作業負担の増加や生産効率の低下が見込まれる。
- ・限られた労働力の中で、経営を維持・向上させていく必要。

スマート農業技術を活用し、データに基づく肥培管理の改善を通じた収益性の向上を目指す

申請者：
阿部優太（北海道和寒町）

対象品目：
水稻

スマート農業技術：
収量コンバインによるデータ取得

新たな生産方式：
収量データを地域の生産者と共有・分析し、次期作の肥培管理（可変施肥）に活用

活用予定の支援措置：
補助事業の優遇措置

計画の概要

スマート農業技術

収量コンバイン



収穫作業により収量データを取得

新たな生産方式

データの共有・分析



取得したデータを地域の生産者と共有・分析し、次年度以降の可変施肥に活用

取得したデータの分析、活用により収益性が向上